

八幡川改修計画について

中国地建

藤吉三郎 ○坂本治夫
平繁正 松永安生
高見昌信

(概要)

八幡川は広島市の西方にある茶臼山、鬼ヶ城山の中間高須の山中に源を発し、広島市已斐町を流れて山手川に流入していた河川であるが、太田川改修計画により新しく開削され太田川放水路右岸0軒900米に流入することとなった。放水路には計画高水流量4000 m^3 /Sを流下させる計画であり、従って従来より流入地点での外水位は上昇することとなるので、八幡川に対する改修計画を再検討する必要性を生じた。なお、已斐地区の内水排除問題とも関連があるので、八幡川と並行して考慮し検討することとなった。

本報告では八幡川流域についてその特性を述べ、流出の解析結果を示し、計画に用いる水文諸量を明らかにして、それにもとづく改修案を立て説明を加えたものである。
(別に発表資料は印刷の予定)

吉野川における最近の堤防調査について

四国地方建設局 徳島工事々務所

渡辺典雄
水沼善裕

吉野川の第2期改修工事は昭和22年度から漏水防止を主目的として開始された。当初は裏小段増巾及び裏法空石張の施行により堤体の安定を計ることとした。昭和26年頃より積極的漏水防止工法の研究が進められ各種の現地調査、試験工事、模型実験等が行われた結果、表法に練石張護岸及びコンクリート遮水壁工法が採用された。

以上の調査結果については、すでに発表されている通りである。

その後、昭和34年度になつて上記工法をすべての漏水地区で実施するのは画一的であり、地形条件、土質組成からみても必ず妥当とは言えないので各漏水地区の特性に適合した工法を再検討することになった。

このため2つの未着工漏水地区を選び、地形条件、土質組成、漏水機構を詳しく調査し、建設省土木研究所に依頼してこれら資料を用いて電気相似法による模型実験を行なつた。この実験は先に当所で実施した実験に較べて、透水係数分布をより原位置に相似させるような導電体を使って実施した。

亦、現地において従来よりの各種現地調査を続行すると共に、上記2地区の代表断面において間隙水圧測定装置し、漏水機構の解明に努めたい。

別紙パンフレットは新らしい方針に沿つた調査、実験結果について述べたものであり、これにより御説明したい。

吉野川那賀川河口堤防高の決定について

四国地方建設局 徳島工事々務所

渡辺典雄
宮崎義正

河口部における計画高水位を決める場合、既往洪水時の最高水位を基準として、上流側に洪水流過能力を検討